

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)										
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数									
II-1-(4)-④ 総合的な 災害対策 の推進	1	浸水対策事業	下水道計 画課	近年、集中的な豪雨 に起因する浸水被害が 増加している。 浸水被害を抑制する ため、公共下水道の整 備を進め、流域全体の 浸水に対する安全度の 向上を図る。	浸水被害の抑制	—	目標	—	—	—	—	浸水被害 の抑制	継続	3,700,000	3,600,000	維持	165,200	課長	0.80	人	順調	平成27年度に採択を受けた 国の下水道浸水被害軽減総合 事業など、国費を最大限活用 しながら引き続き必要な雨水 整備を計画的に進めていく。	順調	今後も整備箇所ごとの現場 の状況に応じた最も経済的な 方法を検討し、整備を行って いく。							
							実績	—	—									係長	2.70												
							達成率	—	—									職員	17.20												
II-1-(4)-⑤ 公共施設 などの耐 震化の推 進	2	地震対策事業 (水道施設)	計画 課	大規模な地震が発生 した場合においても、 安全で安定的な給水を 確保するため水道施設 の耐震化を実施するも の。	耐震補強対象施設 整備率 (旧プラン)	92.3% (H26年度)	目標	92.3 %	100.0 %			100.0% (H27年度)	継続	88,300	348,868	増額	4,610	課長	0.04	人	順調	耐震化計画に基づき、計画 どおり耐震化を実施してい く。	順調	引き続き、計画どおり耐震 化を実施していく。							
							実績	92.3 %	100.0 %									係長	0.10												
							達成率	100.0 %	100.0 %									職員	0.42												
							目標			浄水 33.2% 配水池 48.3%	浄水 33.2% 配水池 51.7%							浄水施設 耐震化率 59.2% 配水池耐 震施設率 54.1% (H32年 度)	継続						650,000	1,040,329	増額	10,690	課長	0.06	
							実績																						係長	0.25	
							達成率																						職員	1.00	
	3	地震対策事業 (下水道施設)	施設 課	大規模な地震が発生 した場合においても、 最低限の下水処理が行 えるよう下水道施設 の耐震化を実施するも の。	耐震補強対象施設 整備率	0.0% (H21年 度)	目標	100.0 %				100.0% (H26年 度)	継続	650,000	1,040,329	増額	10,690	課長	0.06	人	順調	引き続き、浸水防除及び揚 水機能を守るため、優先順位 の高い6箇所のポンプ場の耐 震化を計画どおり進める。	順調	引き続き、浸水防除及び揚 水機能を守るため、優先順位 の高い6箇所のポンプ場の耐 震化を計画どおり進める。							
							実績	100.0 %										係長	0.25												
							達成率	100.0 %										職員	1.00												
							目標			3.1 %	5.8 %							8.8 %	18.2% (H36年 度)						継続	650,000	1,040,329	増額	10,690	課長	0.06
							実績			3.1 %																				係長	0.25
							達成率			100.0 %																				職員	1.00

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																				
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）													
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数												
Ⅱ-3-(4)-② 国際協力・交流の推進	4	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力でアジアの発展に貢献	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	0.70	人	順調	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入れによって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。	順調	H27年度に本格運用を開始した日明浄化センター（ピジターセンター）やウオータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。												
実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	1.20	人																	
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	職員	2.20	人																
Ⅲ-1-(3)-① 安全で安定しておいしい飲める水道の整備	5	配水管更新事業	計画課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	安全で安定的な給水の確保	—	目標	—	—	—	—	H32年度までに40年以上経過した普通・高級鑄鉄製の配水管がない状態	継続	4,200,000	4,200,000	維持	296,125	課長	1.00	人	順調	アセットマネジメントの手法を取り入れた第5期更新計画に基づき、計画どおり更新を実施する。	順調	配水管更新事業について、第5期更新計画に基づき、計画どおり更新を実施していく。アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）について、給水管の増口径が必要な学校も助成の対象として事業を継続することとし、今後も、教育委員会と協議しながら確実に直結化を実施していく。										
							実績	—	—	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	係長	5.10	人
							達成率	—	—	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	—	職員	31.15
	6	アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）	配水管課	水槽式給水の小中学校等では、近年の児童、生徒数減による使用水量の減少や、休日に水を使用しないことなどにより、貯水槽内に水が滞留し、水のおいしさが低減する状況にある。そこで、上下水道局では市立小中学校等の直結式給水への切替えを推進するため、直結化の支援を行う。	学校直結化率	76.0% (H26年度)	目標	76.0 %	81.0 %	—	—	82.0% (H32年度)	継続	35,000	16,000	減額	2,950	課長	0.05	人	順調	引き続き、学校の改築等に併せて直結化（増口径）を実施する。	順調	引き続き、学校の改築等に併せて直結化（増口径）を実施する。										
							実績	76.0 %	80.0 %	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	—	—	
							達成率	100.0 %	98.8 %	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	合流式下水道改善事業	下水道計画課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくる。	良好な水環境の実現	—	目標	—	—	—	—	合流改善の達成	継続	2,500,000	2,300,000	減額	121,150	課長	0.60	人	順調	引き続き必要な合流改善事業を計画的に進めていく。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的な方法を検討し、整備を行っていく。											
						実績	—	—	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
						達成率	—	—	—	—							—	—	—					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
V-1-(4)-② 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成	8	小水力発電設備設置事業	浄水課	水道施設における再生可能エネルギーを有効に利用するため、小水力発電の整備推進を図るもの。	再生可能エネルギーの有効利用	—	目標	—	—	—	—	再生可能エネルギー有効利用の推進	継続	212,080	318,120	増額	1,340	課長	0.01	人	順調	引き続き、国制度の動向を見極めながら、既設水力発電設備の更新を実施する。	順調	引き続き、国制度の動向を見極めながら、既設水力発電設備の更新を実施する。
VI-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	9	下水道資源の有効利用	施設課	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化やさまざまな資源の有効利用を行う。	下水汚泥の資源化率	95.0% (H21年度)	目標	95.0 %	96.0 %	98.0 %	99.0 %	99.0% (H29年度)	継続	1,995,946	1,944,614	維持	127,275	課長	1.00	人	順調	下水汚泥の再資源化については、汚泥燃料化施設の運用を開始し、今後再資源化率が更に上がる見込みである。	順調	下水汚泥の再資源化については、汚泥燃料化施設の運用を開始し、今後再資源化率が更に上がる見込みである。
							実績	92.2 %	95.5 %									係長	2.33	人				
							達成率	97.1 %	99.5 %									職員	12.33	人				

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施																	【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
VII-1- (3)-② 上下水道、消 防、交通など の分野におけ る国際協力の 推進	10	上下水道技術の 国際協力	海外事業課	<p>アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。</p> <p>併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。</p>	国際技術協力でアジアの発展に貢献	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	0.70	人	<p>引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入れによって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。</p> <p>また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。</p>	順調	<p>H27年度に本格運用を開始した日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。</p> <p>北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心にビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。</p>
	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	1.20	人				
VII-1- (3)-② 上下水道、消 防、交通など の分野におけ る国際協力の 推進	11	海外水ビジネス の推進	海外事業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。</p>	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.30	人	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>	順調	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>
					実績	45,909	千円	22,983	千円	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
VII-1- (3)-② 上下水道、消 防、交通など の分野におけ る国際協力の 推進	11	海外水ビジネス の推進	海外事業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。</p>	下水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.30	人	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>	順調	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>
					実績	3,112	千円	2,415	千円	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
VII-2- (1)-① アジア低炭素化 センターを核 とした都市イン フラビジネスの 推進	12	海外水ビジネス の推進	海外事業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。</p>	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.30	人	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>	順調	<p>北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心にビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。</p>
					実績	45,909	千円	22,983	千円	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
VII-2- (1)-① アジア低炭素化 センターを核 とした都市イン フラビジネスの 推進	12	海外水ビジネス の推進	海外事業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。</p>	下水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.30	人	<p>国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。</p>	順調	<p>北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心にビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。</p>
					実績	3,112	千円	2,415	千円	—	—	—	—	—	—	—	—	—			